

単元名 気持ちが伝わる手紙を書こう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体の違いに注意しながら書くことができる。
- (2) 相手や目的を意識して、書くことを選び、伝えたいことを明確にするとともに、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
- (3) 書く内容の中心を明確にし、構成を考え、手紙を書こうとする。

標準的な展開例

04010112_001

【教材名】お礼の気持ちを伝えよう (上 P. 62～P. 65)

【準備等】知多の友、縦書きの便箋、封筒

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>★お世話になった人に、お礼の気持ちを伝える手紙を書こう。</p> <p>○書くことに関するこれまでの学習を教科書 (P. 6) で振り返り、学習課題をつかむ。</p> <p>○学習計画を立て、誰にどんなお礼を伝えるのかを話し合う。</p> <p>2 誰に何のお礼を伝えるのかを決め、手紙の型に沿って、内容を考える。</p> <p>★手紙の型に沿って内容を考えよう。</p> <p>○教科書 (P. 63) を参考にしながら、知多の友 (P. 5) に誰に何のお礼を伝えたいのかを書き出す。</p> <p>○教科書 (P. 63) を読み、「初めのあいさつ」「本文」「むすびのあいさつ」「後づけ」という手紙の型を確かめる。</p> <p>○内容を考える。</p> <p>3 手紙の下書きをする。</p> <p>★手紙の下書きをしよう。</p> <p>○知多の友 (P. 6～7) に手紙の下書きをする。</p> <p>○下書きを読み返し、推敲する。</p> <p>4～5 手紙を書いて読み返し、手紙を送る。</p> <p>★手紙を清書しよう。</p> <p>○手紙を清書する。</p> <p>○教科書 (P. 65) を参考にして、知多の友 (P. 9) に練習した後に、封筒に宛名と差出人を書く。</p> <p>○手紙と封筒の書き間違いがないか確かめ、手紙を送る。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>○手紙で気持ちを伝えることのよさを話し合う。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・これまでにお世話になった人を具体的に思い出させ、お礼の手紙を書く場面を設定するとよい。</p> <p>・知多の友 (P. 4) の学習の手順を読み、学習の見通しをもたせる。</p> <p>【評】手紙の相手や内容について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・敬体で書くことを押さえる。</p> <p>・初めのあいさつの文例をいくつか用意し、提示できるようにしておくとうい。</p> <p>・四つの部分を落とさないように、意識して書かせる。</p> <p>・文末の表現や文字の間違い、言葉遣いに誤りがないかを確認させる。</p> <p>・友達と読み合い、推敲してもよい。</p> <p>【評】推敲をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】伝えたいことを明確にし、構成を考えて手紙を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・縦書きで書ける便箋と封筒を準備しておく。</p> <p>・知多の友 (P. 8) を活用し、手紙を読み返したり、友達と読み合って感想を書いたりさせる。</p> <p>【評】用件や気持ちが伝わるように手紙を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・住所や宛名が書けるように準備しておく。</p> <p>・手紙の書き方を確実に習得し、社会科や総合的な学習などでお世話になった方へ、お礼状を書くなどの場面で活用していきたい。</p>

【 備 考 】